

CASBEE_Sapporo2014v1.2
北海道警察学校 術科棟

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			C			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			C			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮						2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D		2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				BPI=0.580	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	A					3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -	5.0	0.50	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A				BEI=0.68	5.0	1.00	-	-	-
集合住宅の評価(3c)	A					-	-	-	-	-
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	A					3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価						-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	A					-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	A					-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	4.1
1 水資源保護						3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水					節水ゴマ+節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.7	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無					有り	4.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減						4.4	0.60	-	-	4.4
2.1 材料使用量の削減		B				3.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			基礎躯体に高炉セメントを採用	5.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			フローリング、ビニル系床材を床に、陶磁器質タイルを壁、床に採用	5.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B			製材、集成材、合板、フローリング等を使用	5.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B			躯体、仕上げ材、設備をそれぞれ容易に分別解体可能な計画	5.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用					ビニル床シート接着剤において有害物質を含まない	4.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避						3.5	0.70	-	-	-
1 消火剤		B				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		B				3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒		B			ODP=0かつGWP50未満の冷媒を使用	4.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		B			ライフサイクルCO2排出量=参照値×86%	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮						2.3	0.33	-	-	2.3
2.1 大気汚染防止		B				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制						2.2	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		B				3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制						1.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D		2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮						3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	-
1 騒音						3.0	1.00	-	-	-
2 振動						-	-	-	-	-
3 悪臭						-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						3.3	0.40	-	-	-
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制						-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制					基準の2.5h/4.0hに対し2.0h/3.0hを満たしている。	4.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制						3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					光害対策ガイドラインを一部満たす。広告物照明を行っていない。	3.0	0.70	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	-